



写真はシルバー色の製品です。

Technics®

オーディオ ミキサー 取扱説明書

品番 SH-DX1200



このたびは、オーディオ ミキサーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電

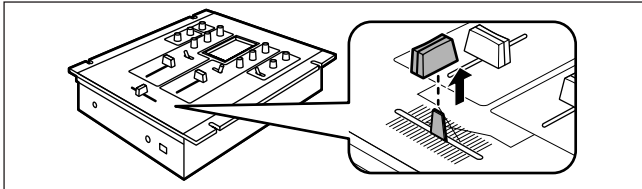
保証書別添付

RQT5372-S

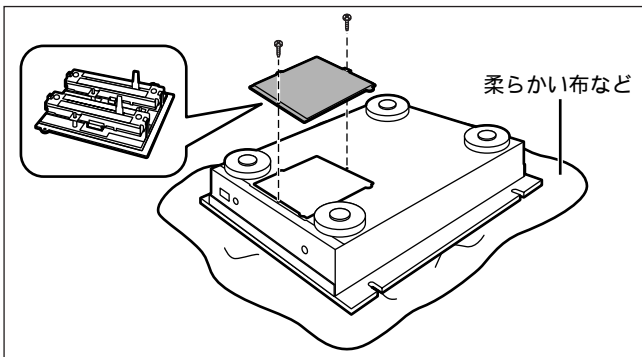
オーディオ ミキサー スライドボリューム交換説明書

本機の底カバーにあらかじめ、交換用のスライドボリューム2個(クロスフェーダー用とチャンネルフェーダー用各1個)を装備しています。万一フェーダーの動きが悪くなったときは、下記の手順に従って交換を行ってください。ここではクロスフェーダーを交換する場合を例としていますが、チャンネルフェーダーを交換する場合も手順は同じです。

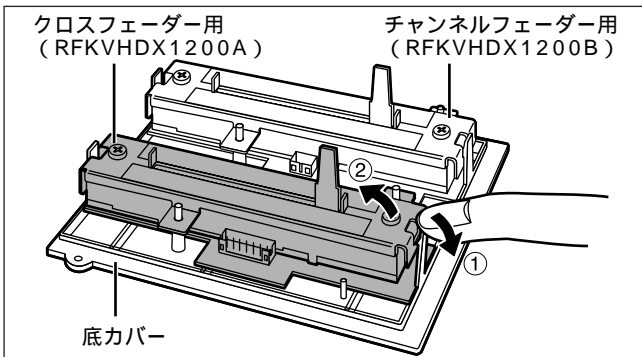
1 交換するスライドボリュームのつまみを外す



2 底面を上にし、底カバーを外す (ビスを2本外す)

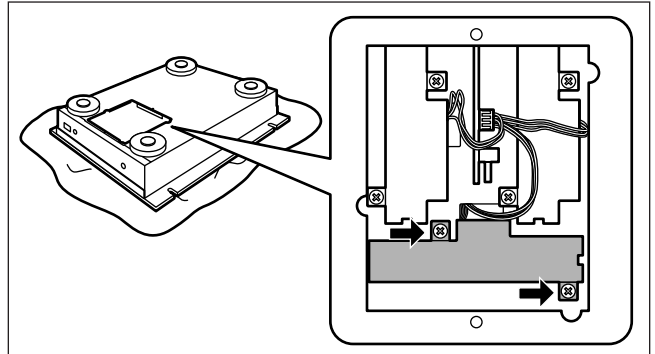


3 交換するスライドボリュームを外す 新しいスライドボリュームの外し方

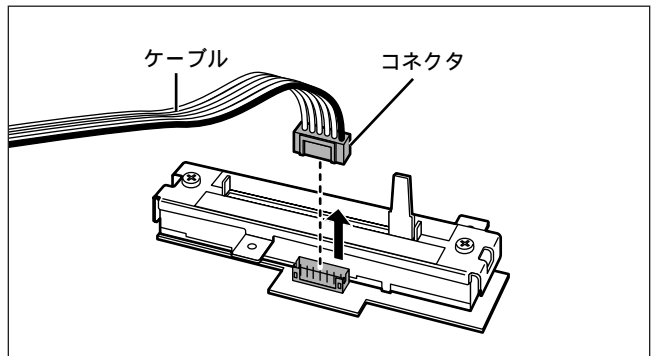


古いスライドボリュームの外し方

- ① ビスを2本外し、スライドボリュームを取り外す



- ② 交換するスライドボリュームからケーブルを、コネクタを持ちながら外す



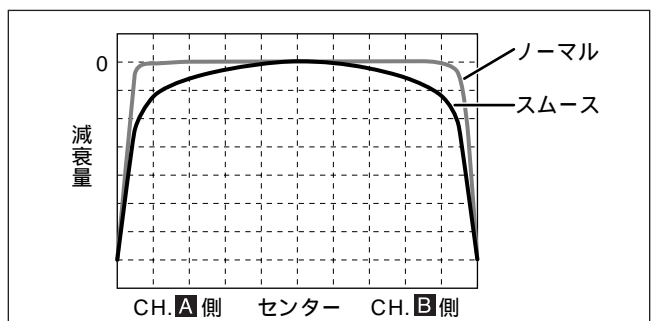
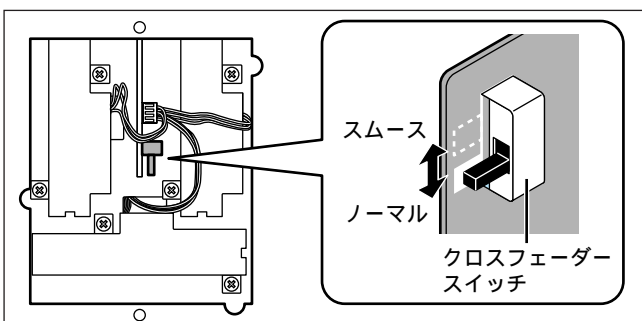
- 4 新しいスライドボリュームを取り付ける
(取り外しと逆の手順で取り付ける)

- 5 底カバーを取り付ける

- 6 つまみを取り付ける

出力減衰特性の切り換え (ノーマル ↔ スムース)

本機の底カバーを開けてクロスフェーダースイッチを切り換えることにより、出力の減衰特性をノーマルまたはスムーズに切り換えることができます。



主な特長

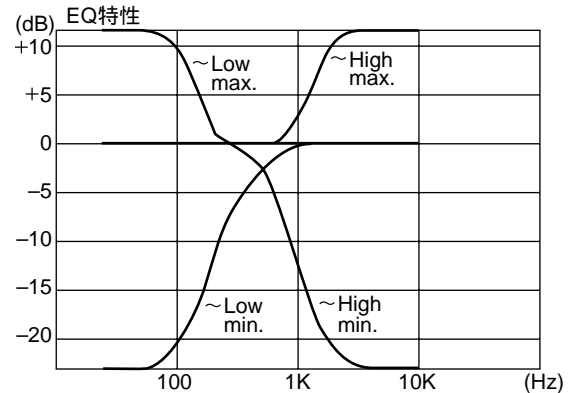
本機は全世界のプロDJ(ディスクジョッキー)が腕を競う、DMC主催“WORLD DJ CHAMPIONSHIP”の'97年度以降の公認ミキサーとして認定されており、多様なスクラッチパフォーマンスを行うDJのご要望に応え、デザイン・機能・音質などに大変優れたオーディオミキサーとなっています。

操作性の特長

- ① 操作性を考慮し、本機の高さはSL-1200MK3D、SL-1200MK4と同一にしています。
- ② チャンネルフェーダーとクロスフェーダーの周辺のパネルレイアウトは、十分なスペースを確保すると共に、突起物をなくしたことにより、激しいスクラッチプレイにおいても思う存分テクニックを発揮できます。

機能の特長

- ① あらゆるサウンド・ソースにも対応し、クリエイティブなサウンドプレイを実現するために、HIGHとLOWのEQ(イコライザー)を装備しています。しかも減衰量を-24dB(12dB/oct)と大きく設定していますので多様な音創りが可能です。(右図参照)



- ② ソースレベル差を補正するTRIM(±10dB)を装備しました。
- ③ プリフェーダーモニターを装備することにより、[MONITOR CUE]つまみで選択したチャンネルが、フェーダーのポジションに関係なくモニターできます。また、ラインアウトのソースをミックスしてモニターすることも可能としています。
- ④ モニターはヘッドホンだけでなく、ブース内でスピーカーモニターもできるように、モニター用のラインアウト端子も装備しています。
- ⑤ 3連のレベルメーターを装備することにより、ラインアウトソースのLch、Rchレベルと、モニターソースにおける12点のレベルが確認できます。
- ⑥ [AUX IN]端子が装備されており、サンプラーやキーボードなどもDJシーンに活用することができます。

構造・素材の特長

- ① 高い耐久性と、滑らかな操作感を実現した45mmストロークのフェーダーを新たに開発し、搭載しました。また、チャンネルフェーダーとクロスフェーダーの寿命も、飛躍的に改善しました。
- ② 万一の場合に備え、チャンネルフェーダーとクロスフェーダー各1個のスペアを本機の底カバーに装備し、簡単にフェーダーを交換できる構造になっています。
- ③ インプット切替つまみ(LINE、PHONO)にはレバースイッチを採用し、周辺に十分なスペースを確保することにより、トランスホーム・スクラッチ機能操作としても使用可能としています。



インターネットアドレス
(<http://www.dmcworld.com>)

DMCとは

世界のトップDJや、ミュージシャン、プロデューサーからなる世界最大のDJ組織で、彼ら自身の音楽創造の向上に寄与することを目的につくられました。イギリス(ロンドン)とアメリカ(ニューヨーク)に拠点を置いて支部を世界32カ国に持ち、世界売上げトップのダンスミュージック専門誌「MIX MAG」を発行するなどの活動を通して、過去13年間連続でTechnics®の協賛のもと、“WORLD DJ CHAMPIONSHIP”を主催しています。各国での大会を勝ち抜いたDJが、ワールドチャンピオンを目指して世界32カ国から集まり、熱く激しいバトルを繰り広げています。

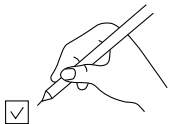
ご使用の前に

もくじ

ご使用の前に
準備
ご使用について
その他

	ページ
主な特長	2
ご使用の前に.....	3
付属品	3
安全上のご注意	
必ずお守りください	4
接続	8
各部のなまえ	10
ブロックダイアグラム	12
故障かな!?	13
保証とアフターサービス	14
主な仕様	裏表紙
お手入れ	裏表紙

付属品



まず最初に付属品を確かめてください。

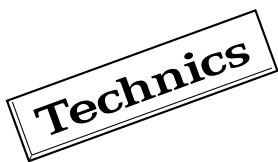
電源コード.....1本
(品番: RJA0059-J)



お願い

付属の電源コードは、本機専用です。
他の機器に使用しないでください。

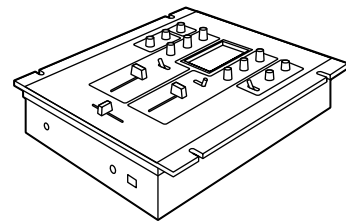
ステッカー.....1枚



付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へ
ご相談ください。

()内は買い替え時の品番を表します。

本書では、本機を次のような絵表示で説明しています。



音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



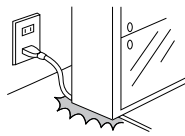
このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

電源コードについて

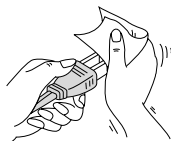
電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない



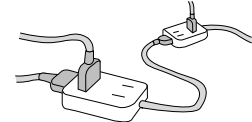
- ・傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- ・コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



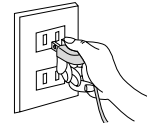
- ・プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- ・長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



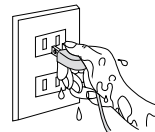
- ・たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



- ・差し込みが不完全ですと、感電や、発熱による火災の原因になります。
- ・傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



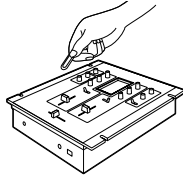
ぬれ手禁止

- ・感電の原因になります。

警告

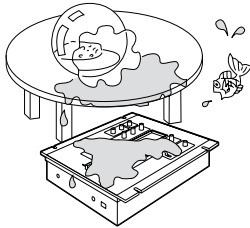
ご使用について

機器内部に金属物を入れない



- ・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
- ・機器の上に金属物を置かないでください。
- ・特にお子様にはご注意ください。

水をかけたり濡らしたりしない

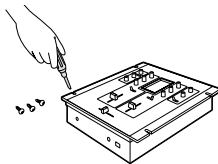


- ・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
- ・機器の上に液体の入った容器を置かないでください。

分解、改造したりしない



分解禁止



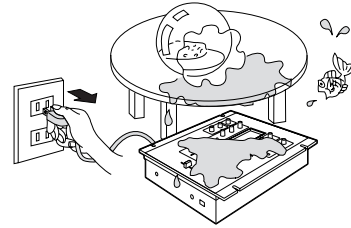
- ・内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- ・内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起きたら

機器内部に金属や水、異物が入ったら、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

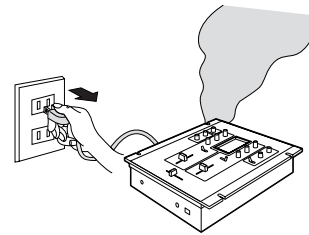


- ・そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- ・販売店にご相談ください。

煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したときは電源プラグを抜く



電源プラグを抜く



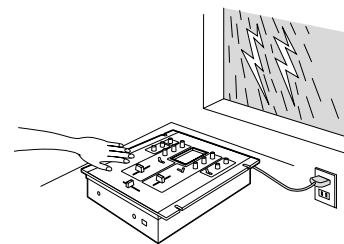
- ・そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- ・販売店にご相談ください。

雷について

雷が鳴ったら、機器やプラグに触れない



接触禁止

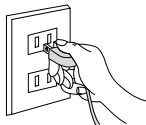


- ・感電の恐れがあります。

⚠ 注意

電源コードについて

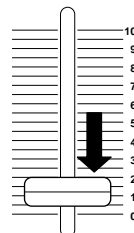
抜き差しは電源プラグを持つ



- ・電源コードを引っ張ると、コードが傷ついたり、ちぎれたりして、火災や感電の原因になることがあります。

ご使用について

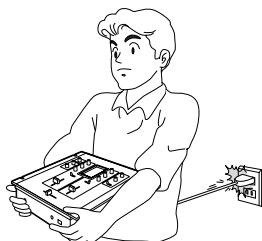
電源を入れる前に、音量を絞る



- ・突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない



- ・接続した状態で移動させようとする、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- ・また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



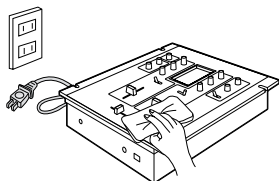
- ・耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

お手入れについて

お手入れの前には、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く



- ・入れたままにしておくと、感電の原因になることがあります。

機器に乗らない



- ・倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- ・特にお子様にはご注意ください。

長期間使用しないときは、安全のため、電源プラグを抜いておく



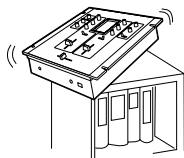
電源プラグを抜く



⚠ 注意

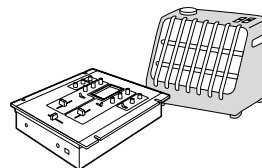
設置 / 接続について

不安定な場所に置かない



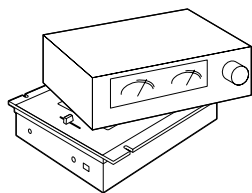
- ・機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなる場所に置かない



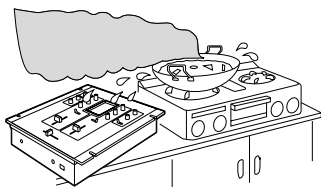
- ・機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- ・直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

機器の上に大きいものや重いものは載せない



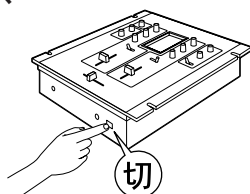
- ・倒れたりして、けがの原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところや、湿気やほこりの多いところに置かない



- ・電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

接続前に、本機と、接続する機器の電源を「切」しておく



- ・「入」の状態では接続すると、突然大きな音が出て聴力障害の原因になることがあります。

接続

後面の接続

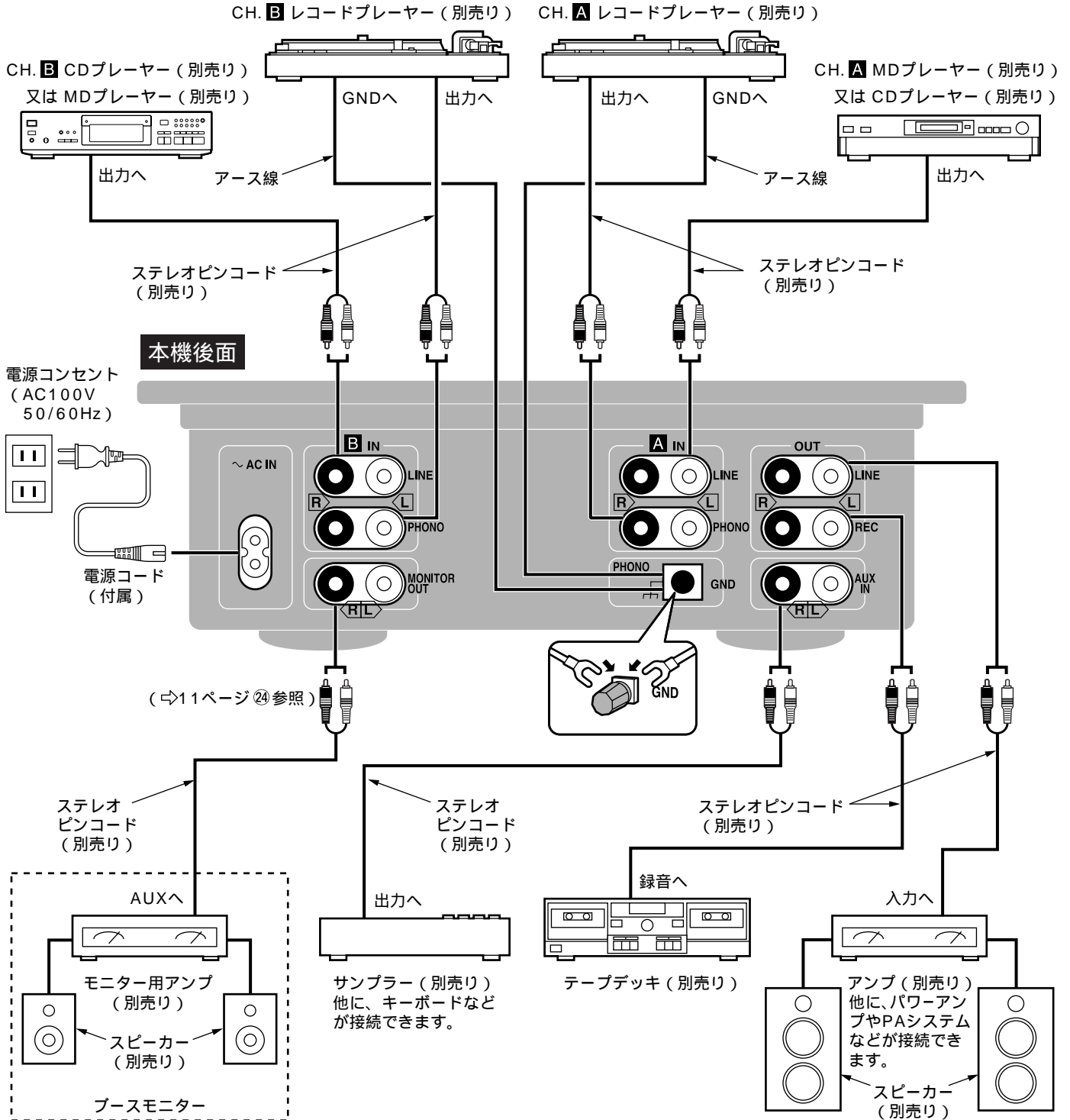
ステレオピンコード（別売り）で本機と各機器を接続します。接続時には必ず各機器の電源を切ってください。電源コードの接続は、全ての接続が終わった後に行ってください。

ステレオピンコードの接続は

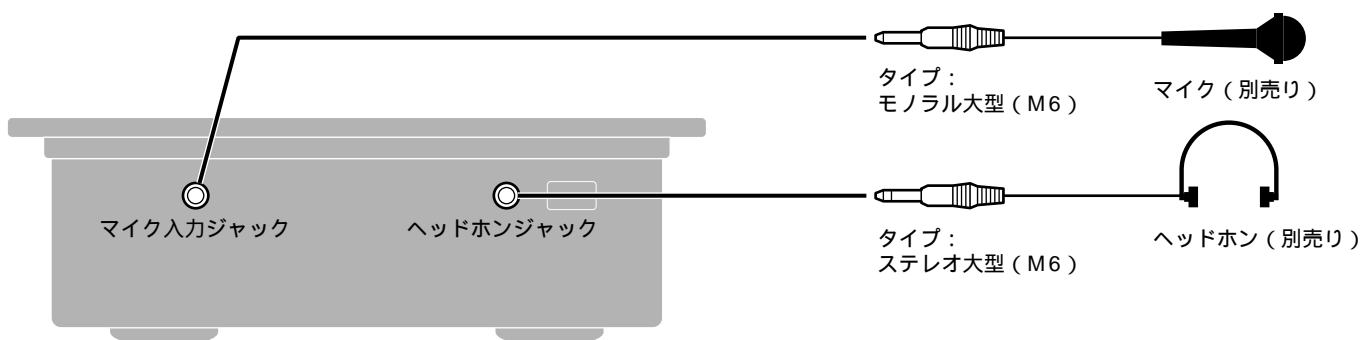


ご参考

GND端子のないレコードプレーヤーの場合、アース線の接続は不要です。



前面の接続

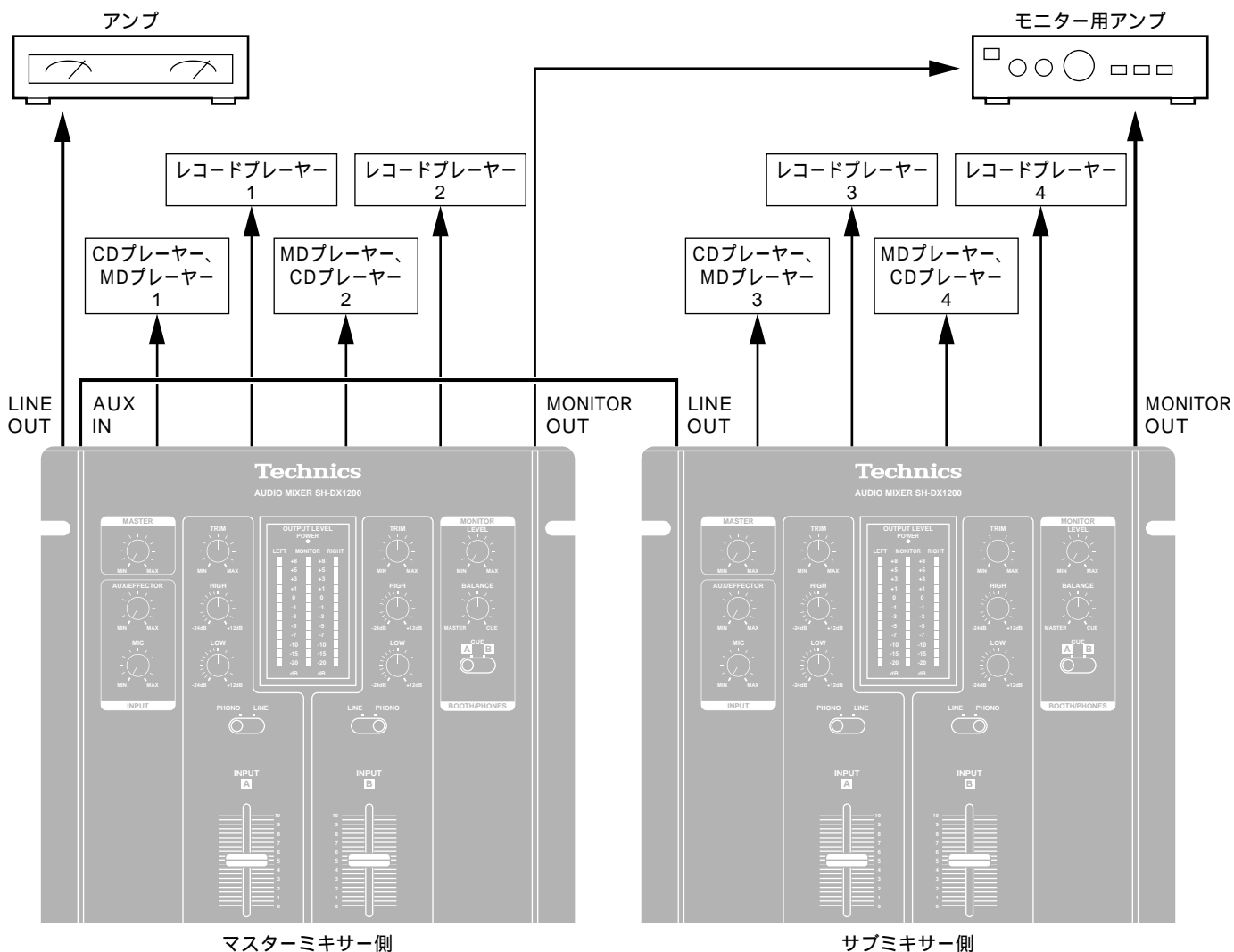


ヘッドホンで聞くときは

- ・ [MONITOR LEVEL]つまみなどで、必ず音量を絞ってから接続してください。
- ・ 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

本機を 2 台連結接続する場合

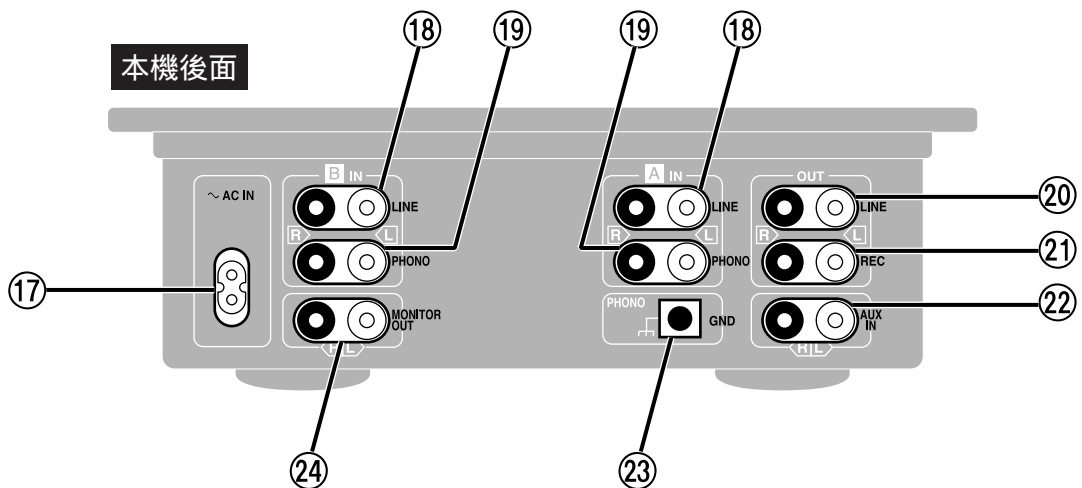
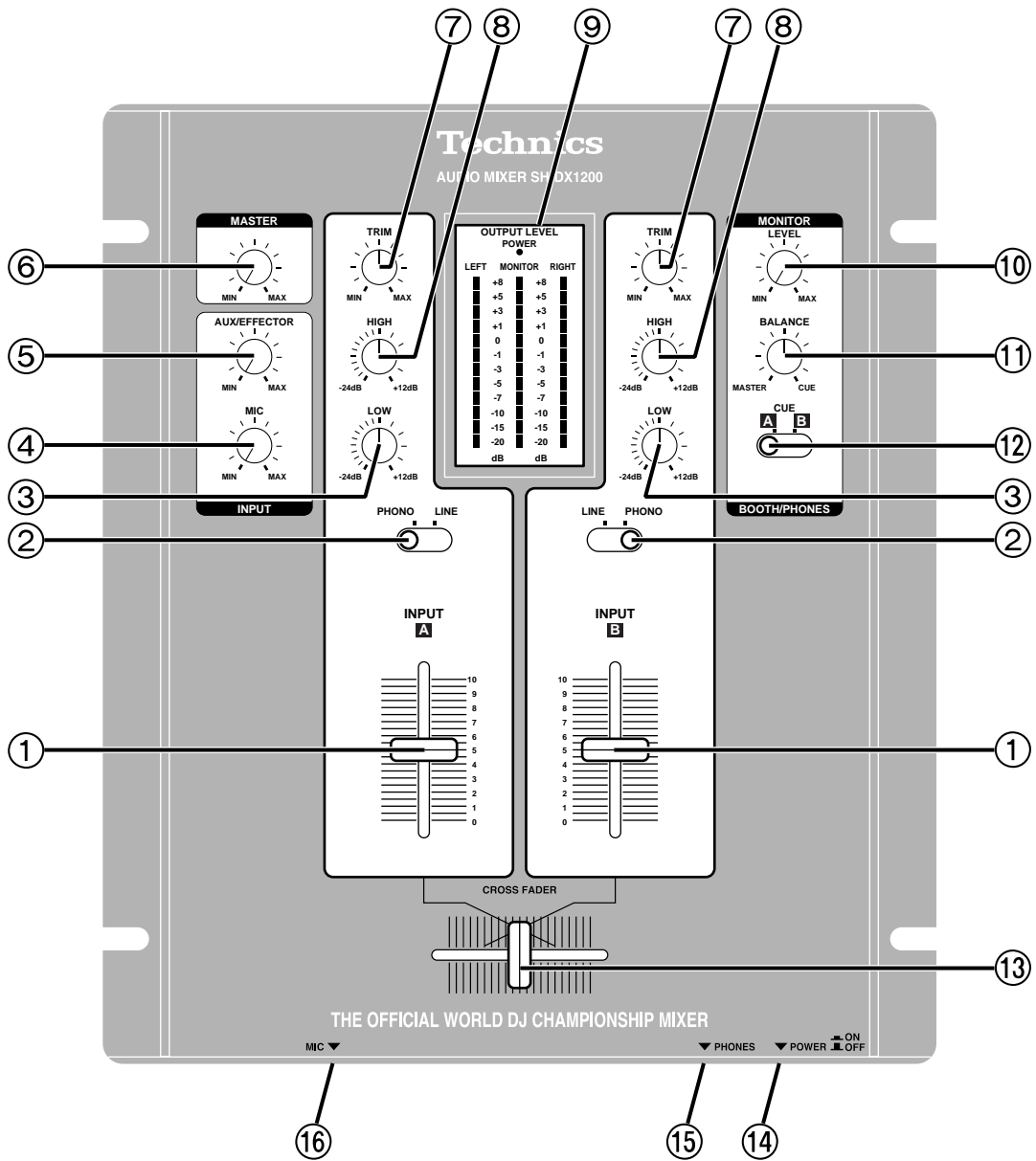
マスターミキサーの[AUX IN]にサブミキサーの[LINE OUT]を接続します。



2台 (マスターミキサーとサブミキサー) のレベルの合わせかた

2台のレベルが合うようにマスターミキサーの[AUX/EFFECTOR]音量レベルと、サブミキサーの[MASTER]音量レベルを調整します。

各部のなまえ



- ① **A**(**B**) ^{インプット} INPUT (フェーダー) つまみ
- ② **A**(**B**) ^{ホノライン} PHONO、LINE(インプット切替)つまみ
- ③ **A**(**B**) ^{ロウ} LOW (低音域レベル) つまみ
- ④ ^{マイク} MIC (マイク音量) つまみ
- ⑤ ^{オックスエフェクター} AUX/EFFECTOR(オックス/エフェクター音量)つまみ
- ⑥ ^{マスター} MASTER (マスター音量) つまみ
- ⑦ **A**(**B**) ^{トリム} TRIM (入力感度) つまみ
- ⑧ **A**(**B**) ^{ハイ} HIGH (高音域レベル) つまみ
- ⑨ ^{アウトプットレベル} OUTPUT LEVELメーター
[LINE OUT](Lch, Rch)と[MONITOR OUT]の出力レベルを表示します。
- ⑩ ^{モニターレベル} MONITOR LEVEL (モニター音量) つまみ
- ⑪ ^{モニターバランス} MONITOR BALANCE つまみ
[LINE OUT]のソースと、[MONITOR CUE]つまみで選択したソースの、バランス調整をします。
- ⑫ ^{モニターキュー} MONITOR CUE **A**、**B** (ソース切替) つまみ
ヘッドホンおよびモニターの出力はフェーダーのポジションにかかわらず、CH(**A**、**B**)のソースを選択できます。
- ⑬ ^{クロスフェーダー} CROSS FADER つまみ
CH. **A**とCH. **B**の入力レベルのバランスが調整できます。
- ⑭ ^{オン}  ON、^{オフ} ^{パワー}  OFF POWER (電源) ボタン
- ⑮ ^{ホーンズ} PHONES (ヘッドホン) ジャック
- ⑯ ^{マイク} MIC (マイク入力) ジャック
- ⑰ ^{エーシーイン} ~ AC IN (電源入力) 端子
- ⑱ **A**(**B**) ^{ラインイン} LINE IN 端子
- ⑲ **A**(**B**) ^{ホノイン} PHONO IN 端子

- ⑳ ^{ラインアウト} LINE OUT 端子
- ㉑ ^{レックアウト} REC OUT 端子
- ㉒ ^{オックスイン} AUX IN 端子
- ㉓ ^{ホノグランド} PHONO GND 端子
ハム、ノイズを防ぐためレコードプレーヤーのアース線は必ずこの[PHONO GND]端子に固定してください。
- ㉔ ^{モニターアウト} MONITOR OUT 端子
この端子は、ヘッドホンと同じ信号が出力されています。独立したDJブースなどで、ヘッドホンを使わずにスピーカーでモニターする場合は、モニター用アンプを接続してください。
通常出力用アンプは、[LINE OUT]端子 ㉑ に接続してください。

[MONITOR BALANCE]つまみの使い方

[CUE] (右いっぱい) の時

- ・この状態が、従来の一般的なDJミキサーのモニターと同じはたらきになります。
- ・[MONITOR CUE]つまみ ⑫ で選択したCH(**A**、**B**)の音が、CH.[INPUT]フェーダー、[CROSS FADER]のポジションにかかわらずモニターできます。

[MASTER] (左いっぱい) の時

- ・[MONITOR CUE]つまみでの選択は、関係なくなります。
- ・[LINE OUT]端子 ㉑ から出力されている音が、モニターできます。

センターの時

- ・[MONITOR CUE]つまみ ⑫ で選択したCH(**A**、**B**)の音と[LINE OUT]端子 ㉑ から出力される音をミックスしてモニターできます。

お知らせ

本機に使用しているフェーダーは、10万回以上の寿命を持っていますが、使用方法によっては(Hip-Hopのトランスファープレイなどで、高速、頻りに操作したような場合)、一カ月程度で交換する必要が生じる場合があります。このため、予備のクロスフェーダー、チャンネルフェーダーを各1個ずつ本機の底カバーに備えています。フェーダーを交換する際は添付の「スライドボリューム交換説明書」をよくお読みください。

フェーダーの買い替えは

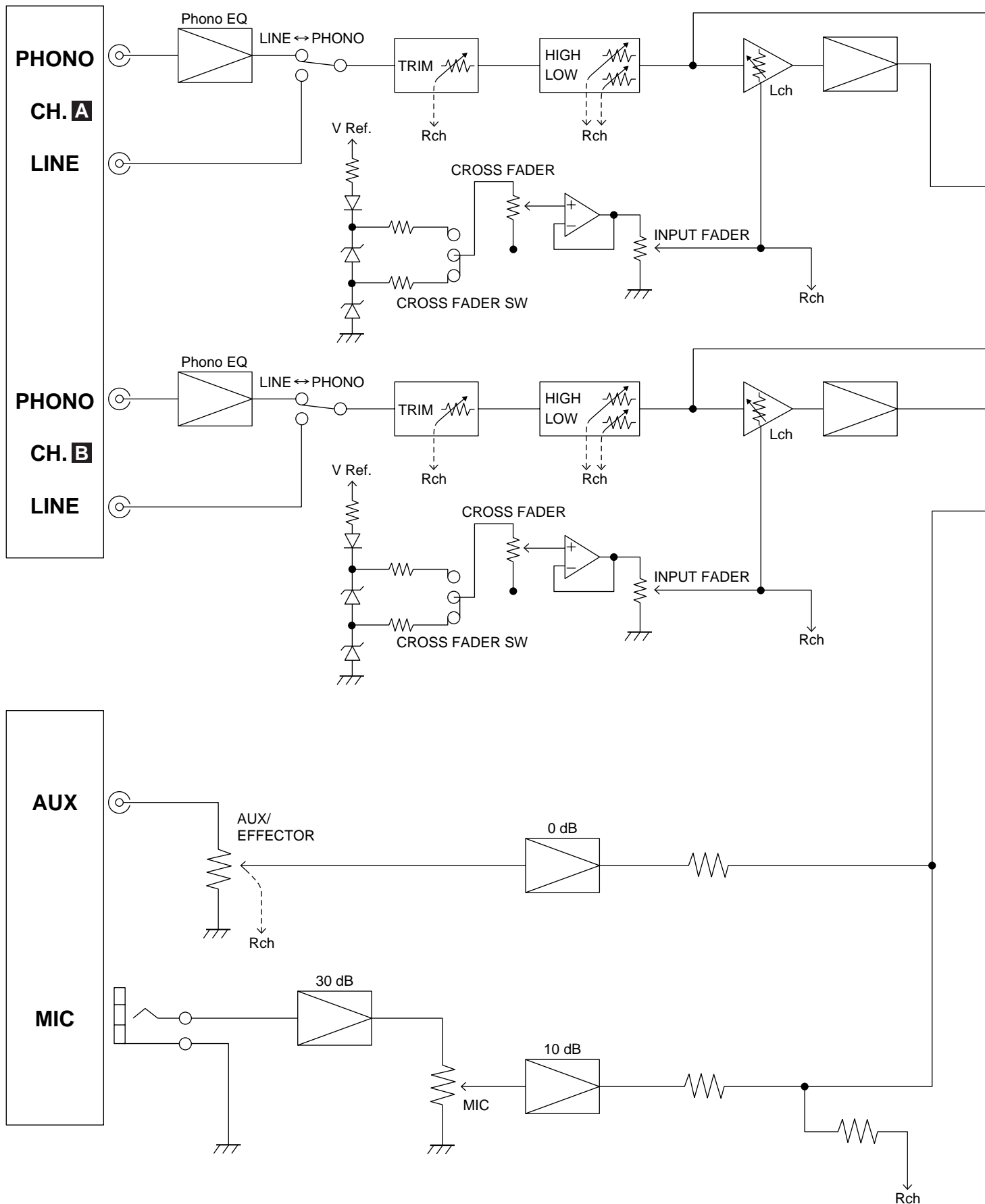
クロスフェーダー (品番: RFKVHDX1200A)

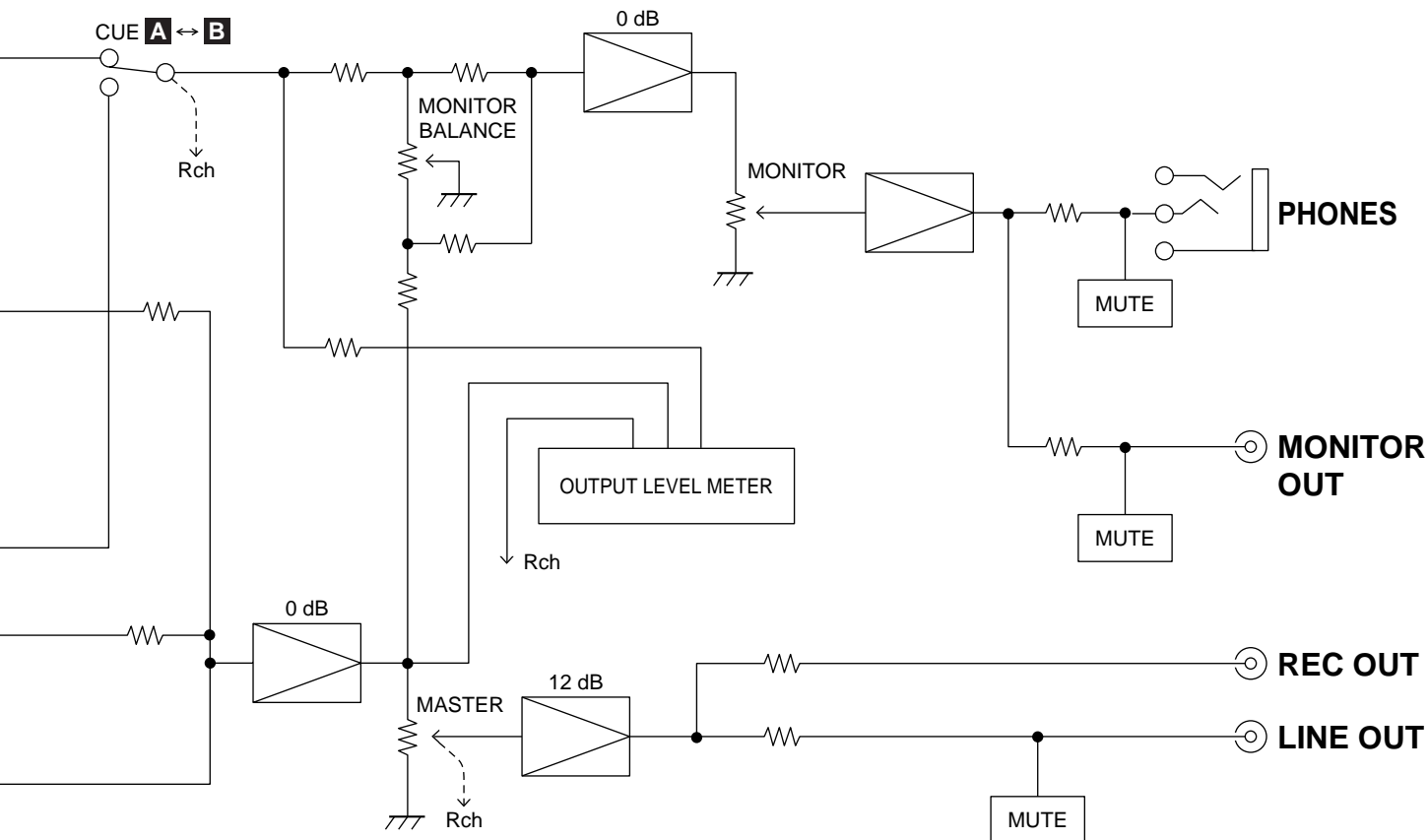
チャンネルフェーダー (品番: RFKVHDX1200B)

・買い替えはお買い上げの販売店へご相談ください。

・ () 内は買い替え時の品番を表します。

ブロックダイアグラム





故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください	処置	参照ページ
電源が入らない。	電源プラグがはずれていませんか。	確実に差し込む。	8
電源を入れても音が出ない。	インプット切換つまみを他のソースにしていますか。	ソースを確かめ、正しい位置にする。	10~11
	各機器の接続が間違っていますか。	正しく接続する。	8~9
	マスター音量ほか、各音量つまみがMINになっていませんか。	各音量つまみを正しく調整する。	10~11
左右の音が逆になる。	各機器の接続が左右逆になっていませんか。	正しく接続する。	8~9
演奏中にブーンという低い音(ハム音またはバス音)が入る。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気器具やその電源コードがありませんか。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してみる。	
	レコードプレーヤーのアース線がはずれていませんか。	アース線を正しく接続する。	8
フェーダー(スライドボリューム)の動きが悪い。	フェーダーが消耗していませんか。	新しいフェーダーと交換する。(別添付のスライドボリューム交換説明書を参照してください。)	11

修理・お取り扱い・お手入れ

などのご相談は...

まず、お買い上げの販売店へ

お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は...

- ・修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- ・その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

修理を依頼される時

13ページの表「故障かな!？」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- ・保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- ・保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、オーディオミキサーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8年です。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- ・修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル/パナソニック

お客様ご相談センター

使いかた・
お買い物の
ご相談は

フリーダイヤル
(料金無料)



パナは 365日
0120-878-365

365日 / 受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

Tokyo (03) 3256 - 5444

Osaka (06) 6645 - 8787



ナショナル/パナソニック

修理ご相談窓口

修理の
ご相談は

ナビダイヤル
(全国共通番号)

☎ 0570-087-087



お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口にご直接おかけください。
(ナビダイヤルはご利用頂けません)

北海道地区

札幌 札幌市厚別区厚別南 2丁目17-7 ☎ (011)894-1251	帯広 帯広市西19条南1丁目 7-11 ☎ (0155)33-8477
旭川 旭川市2条通21丁目 左1号 ☎ (0166)31-6151	函館 函館市西桔梗589番地241 (函館流通卸センター内) ☎ (0138)48-6631

近畿地区

滋賀 守山市勝部6丁目2-1 ☎ (077)582-5021	奈良 大和郡山市椎木町404-2 ☎ (0743)59-2770
京都 京都市南区上鳥羽石橋町 20-1 ☎ (075)672-9636	和歌山 和歌山市中島499-1 ☎ (0734)75-1311
大阪 大阪市北区本庄西1丁目 1-7 ☎ (06)6359-6225	兵庫 神戸市中央区琴ノ緒町 3丁目2-6 ☎ (078)272-6645

東北地区

青森 青森市大字ハッ役字矢作 1-37 ☎ (0177)39-9712	宮城 仙台市宮城野区扇町 7-4-18 ☎ (022)387-1117
秋田 秋田市御所野湯本2丁目 1-2 ☎ (018)826-1600	山形 山形市流通センター 3丁目12-2 ☎ (023)641-8100
岩手 盛岡市羽場13地割30-3 ☎ (019)639-5120	福島 福島県安達郡本宮町 字南ノ内65 ☎ (0243)34-1301

中国地区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695	岡山 岡山県都窪郡早島町 矢尾807 ☎ (086)292-1162
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎ (0859)34-2129	広島 広島市西区南観音8丁目 13-20 ☎ (082)295-5011
松江 松江市西津田2丁目10-19 ☎ (0852)23-1128	山口 山口市鑄銭司 字鑄銭司団地北447-23 ☎ (0839)86-4050
出雲 出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	
浜田 浜田市下府町327-93 ☎ (0855)22-6629	

首都圏地区

栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎ (028)689-2555	千葉 千葉市中央区星久喜町172 ☎ (043)208-6034
群馬 高崎市萩原町沖中205-18 ☎ (027)352-1109	東京 東京都世田谷区宮坂 2丁目26-17 ☎ (03)5450-7431
水戸 水戸市柳河町309-2 ☎ (029)225-0249	山梨 甲府市下飯田2丁目1-27 ☎ (0552)22-5171
つくば つくば市花畑2丁目8-1 ☎ (0298)64-8756	神奈川 横浜市港南区日野5丁目 3-16 ☎ (045)840-3155
埼玉 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎ (048)729-2102	新潟 新潟市東明1丁目8-14 ☎ (025)286-7725

四国地区

香川 高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-9477	高知 南国市岡豊町中島331-1 ☎ (088)866-3142
徳島 徳島県板野郡北島町 鯛浜字かや108 ☎ (088)698-1125	愛媛 松山市土居田町750-2 ☎ (089)971-2144

九州地区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎ (092)593-9036	熊本 熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067
佐賀 佐賀市本庄町大字本庄 896-2 ☎ (0952)26-9151	天草 本渡市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
長崎 長崎市東町1949-1 ☎ (095)830-1658	鹿児島 鹿児島市与次郎1丁目 5-33 ☎ (099)250-5657
大分 大分市萩原4丁目8-35 ☎ (097)556-3815	大島 名瀬市矢之脇町10-5 ☎ (0997)53-5101
宮崎 宮崎県宮崎郡清武町 下加納366-2 ☎ (0985)85-6530	

中部地区

石川 石川県石川郡野々市町 稲荷3丁目80 ☎ (076)294-2683	名古屋 名古屋市瑞穂区塩入町 8-10 ☎ (052)819-0225
富山 富山市寺島1298 ☎ (076)432-8705	岡崎 岡崎市岡町南久保28 ☎ (0564)55-5719
福井 福井市開発4丁目112 ☎ (0776)54-5606	岐阜 岐阜県本巣郡北方町 高屋太子2丁目30 ☎ (058)323-6010
長野 松本市大字笹賀7600-7 ☎ (0263)58-0073	高山 高山市花岡町3丁目82 ☎ (0577)33-0613
静岡 静岡市西島765 ☎ (054)287-9000	三重 久居市森町字北谷1920-3 ☎ (059)255-1380

沖縄地区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎ (098)877-1207	
-------------------------------------	--

その他

主な仕様

入力感度 / 入力インピーダンス	残留ノイズ	0.2 mV以下
PHONO 1.5 ~ 15 mV/47 k	周波数特性	
LINE 100 ~ 1000 mV/10 k 以上	PHONO 30 Hz ~ 15 kHz(RIAA ± 1 dB)	
AUX/EFFECTOR 150 mV/47 k	LINE 10 Hz ~ 70 kHz(- 3 dB)	
MIC 0.7 mV/1 k	AUX/EFFECTOR 10 Hz ~ 100 kHz(- 3 dB)	
定格出力電圧	MIC 100 Hz ~ 15 kHz(- 3 dB)	
LINE 1 V/600	トーンコントロール特性	12 dB/oct
MONITOR 2 V/2.2 k	LOW + 12 dB, - 24 dB(63 Hz)	
ヘッドホン 1.5 V/100 (負荷100)	HIGH + 12 dB, - 24 dB(10 kHz)	
REC 1 V/2.2 k	総合	
最大出力電圧 (ヘッドホンを除き負荷10 k)	電源	AC 100 V, 50/60 Hz
LINE 8 V	消費電力	14 W
MONITOR 8 V(ヘッドホン オープン)	寸法(幅×高さ×奥行)	260 mm×102 mm×305 mm
ヘッドホン 1.5 V(負荷100)	質量	3.5 kg
REC 8 V	注)	
適合負荷インピーダンス	この仕様は、性能向上のため変更することがあります。	
LINE 600 以上		
MONITOR 10 k 以上		
ヘッドホン 47 以上		
REC 10 k 以上		

お手入れ

やわらかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- ・アルコールやシンナーは使わないでください。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

愛情点検

長年ご使用のオーディオ ミキサーの点検を！



こんな症状はありませんか

- ・煙が出たり、異常なおいや音がある
- ・音が出ないことがある
- ・正常に動作しないことがある
- ・商品に破損した部分がある
- ・その他の異常や故障がある

このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年 月 日	品番	SH-DX1200
	販売店名	☎ () -	お客様ご相談窓口	
		☎ () -		



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571-8505 大阪府門真市松生町1番4号

© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) 2000

RQT5372-S
M0200TKO